

BV 隊活動報告書

日時	平成15年3月16日(日) 8時45分~16時00分	作成:平成15年3月22日
場所	北鎌倉ハイキング	
ねらい	春の自然を感じて歩く	木の葉章 健康
もちもの費用	いつものとおり、水筒、おにぎり、着替え、タオル、5円(お財布) 費用大人1480円、スカウト以外の子供740円。	
準備	ソフトボール、落花生(リス用)、おやつ(コインチョコ)	
参加人数	スカウト 12 見学 1 指導者 7 保護者 1	
概 要		
8:45	西大井駅前集合 出欠 確認 隊長のことば(電車でのマナー)・トイレ・ジャンケン	伊藤隊長
9:08	西大井駅発(9:08 発逗子行きに乗車) 切符購入: 大櫛副長 大人690円 小学生350円	
9:51	北鎌倉駅着 先頭方向の線路を渡って改札を出る 駅前広場で歩行時の注意を再度実施(歩道が狭いのでふざけない)	
10:05	円覚寺門前駐車場にてトイレ	野末副長 伊藤隊長
10:15	踏切手前の横断歩道を横断、右折(浄智寺方面へ) 信号が無く3列で待つ場所が無いので、1列の状態から組毎に分けて渡る 各組2、3名ずつのDL、副長で対応する。	
10:20	ハイキングコースに入る	
10:25	天柱峰(5分休憩)	
10:35	葛原岡神社(ここから左方面にそれて銭洗弁天へ)	
10:45	銭洗弁天着(参拝、お金を洗う、トイレ、水のみ)	
11:00	銭洗弁天発	
11:10	佐助稻荷神社着(リスにえさやり) BBの集合が遅いので注意	
11:25	佐助稻荷神社発 上り切った所で、右に曲がり、その後左方向の大仏方面へ曲がる	
11:50	尾根沿いの広場 昼食(食事が早く終わっても、遊ぶ事が出来ないなので直ぐに出発)	
12:20	出発	野末副長 伊藤隊長
12:30	一般道に出る前の最後の下り 下り坂が急で、段差も大きいので、大櫛副長にサポートを指示 下りきったところで、一般道を歩き方を注意(歩道が狭い)	
12:35	高德寺(鎌倉大仏)着 拝観料:大人200円、小学生以下150円 胎内拝観料:小学生以上20円 トイレ、	野末副長 伊藤隊長
12:55	出発 道は歩道が狭く、車の通りも激しく、観光客の往来も多い 副長、DLに安全に配慮の旨指示。スカウトにも注意を与える。	
13:20	由比ガ浜着 水遊び、サッカー、砂遊び、読み聞かせ、おやつ	

<p>14:45 出発 長谷駅ホームでトイレ 15:05 長谷駅発 大人 880 円、小学生 450 円 乗換時間が 5 分しかないので速やかに乗り換えること</p> <p>15:15 鎌倉駅発 帰りの電車は座れない可能性が高い。荷物は網棚へ。</p> <p>15:55 西大井駅着 隊長講評 みんなよく頑張りました。 ネネちゃんがBにも関わらず、復帰直後のスカウトの面倒を見ていたので誉める。 木の葉章(健康) 次回案内 4月13日入団、上進式 大きな輪、解散</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>	伊藤隊長
--	------

【トピックス】

- ・天気予報では雨が懸念されたが、解散までは降らなかった。
- ・水遊びがエスカレートしてずぶぬれになったスカウトがいた。
- ・小枝賞：なし
- ・たまき君復帰、さやちゃん見学

評価、反省

1. 計画では余裕のある時間配分にしたつもりだが、実踏をした土曜よりもかなり電車の乗降が多く、北鎌倉からの出発が遅れた。しかし、その他の部分では計画に余裕があったため、挽回する事が出来た。
2. 由比ガ浜では、ある程度濡れるのは覚悟していたが、あの寒さの中でずぶ濡れになるスカウトがいたのには閉口した。やはり、そういうことも想定してプログラム展開する必要性を痛切に感じた。
3. 活動時間の長さは自然に触れる時間が長いことで、ある程度カバーできると思っていたが、最後の水遊びでかなり体力を消耗した(おまけに寒かった)為に、帰りの電車では寝ているスカウトが多かった。砂浜で遊ぶのはプログラムとして良かったと思うが、海に入れるべきでは無かったと思う(スカウトは喜んでいたが)。やはり、帰り着くまで注意力が維持できる程度の体力は残しておくべきだと思った。
4. 鎌倉の中でスカウト向けの史跡である、銭洗弁天、佐助神社(佐助神社からの登りがスカウトに受けが良いと思っている&リス)、大仏さんを回れたのは良かったと思う。
5. ハイキングはコースが変化に富んでいて、スカウトの興味をそらさなかったため、大仏さんまで一気に歩いた感があるにも関わらず、スカウトから不平はほとんど出ていなかった。
6. 最後の由比ガ浜で過ごす時間を充分のとするため、他のプログラムを早めに切り上げるように調整した。スカウト達は海に来たこと自体をとても喜んでいたので、調整して良かったと思う。やはり、余裕のある計画を立てて、状況に応じて時間配分を調整できるというやり方が良かったと思った。

